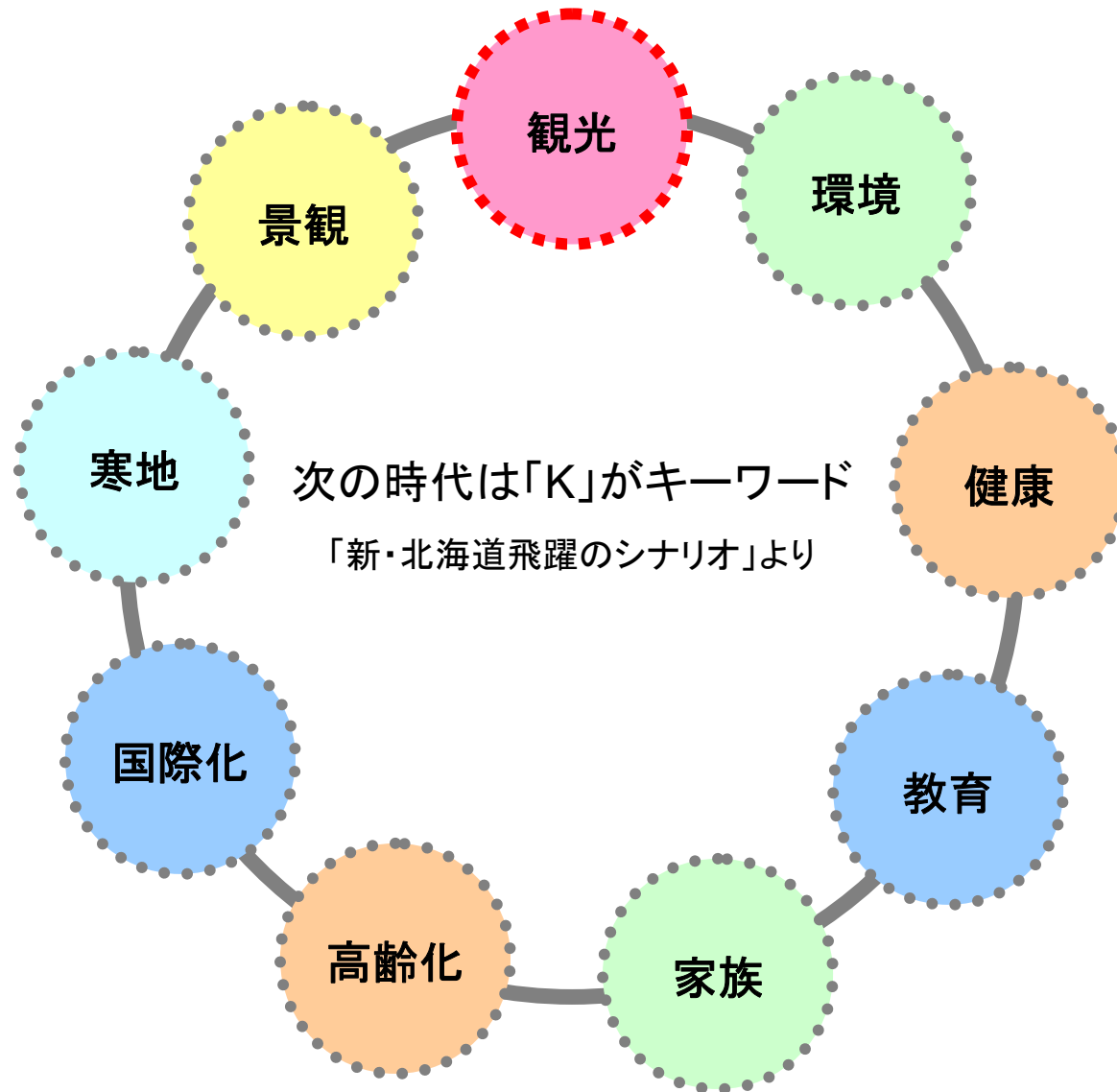


観光振興に資する技術士の役割  
これまで、そして、これから

2009年2月18日

観光分科会

# スタートは、「K」



# スタートは議論

生き残るためには、観光と農業が大切だ！

自分の提案を形にしたい！

私は、北海道を良くするために技術者として貢献したい！

観光は幅が広い！我々に、何ができるか？



# 検討のキロポスト: フェーズ1 (H12~15)

～観光基盤としての社会資本整備(ハードウェア)を主眼として～

## 検討テーマ(H12)

○観光情報のグレードアップとネットワーク化

○高齢化社会における新しい滞在型観光

○観光地の景観・環境・魅力形成

## 検討会(H12~14)

・観光商品開発(マッカリーナを事例として)

・観光情報のニーズ

・シーニックバイウェイ

・ドイツテーマ街道

・北海道の新しい観光施策推進(観光のくにづくり)

## 提言(H15)

・多様な道路ネットワークの確立

・特色ある広域ルートの創造

・空港観光情報提供システムの再構築

・道の駅活性化

### 「観光ルート整備」への提言

テーマや物語のある観光ルートの創造	地域資源の再発見	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 住民等による地域の観光資源再発見</li> <li>◆ 地域資源マップ(地元の穴場)の作成、揭示</li> </ul>
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ インターネットによる観光ルートのPR(出発地、方面、時間、距離、日帰り・宿泊、活動テーマ、季節、遊・食・学などの体験メニューなどから最もお勤のルートやポイントが検索可能なシステム)</li> <li>◆ 道内主要都市からの詳細なモデル観光ルートガイドブックづくり</li> <li>◆ 各町に「Iセンター」を設ける(兼用可)</li> </ul>
	ドライブそのものが楽しくなるルート整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 沿道、中央分離帯、法面等への植栽、自然素材を活用した沿道景観の育成、広域景観条例、沿道土地利用規制</li> <li>◆ 町の入り口にシタイゲートとなる道路公園づくり</li> <li>◆ 景観ポイントへの路測駐車場・展望駐車場設置、ベストショットポイントへのカメラ台設置</li> <li>◆ テーマに沿った観光案内標識のデザイン化・充実</li> <li>◆ 広域連携によるテーマに沿った観光ポイント、見所の整備</li> </ul>
	潜在地の体験充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 観光ポイント、道の駅、オートキャンプ場での遊・食・学、参加体験型オブシニアルメニュー(カヌー、ラフティング、温泉、森林浴、乗馬等)の充実</li> <li>◆ 自転車の貸し出し、周遊ウオーキングトレイルの設定</li> </ul>
	地域住民・NPOの参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ボランティア等によるガイド、沿道の美化(花や木の植栽、沿道の廃屋・ゴミなどのかたづけ、マーケット等の開催)</li> <li>◆ 沿道住宅の前庭のガーデニングコンクール</li> <li>◆ 「Iセンター」や道の駅への地域ぐるみで総合的な情報を提供できる人材の育成、配置・常駐</li> </ul>

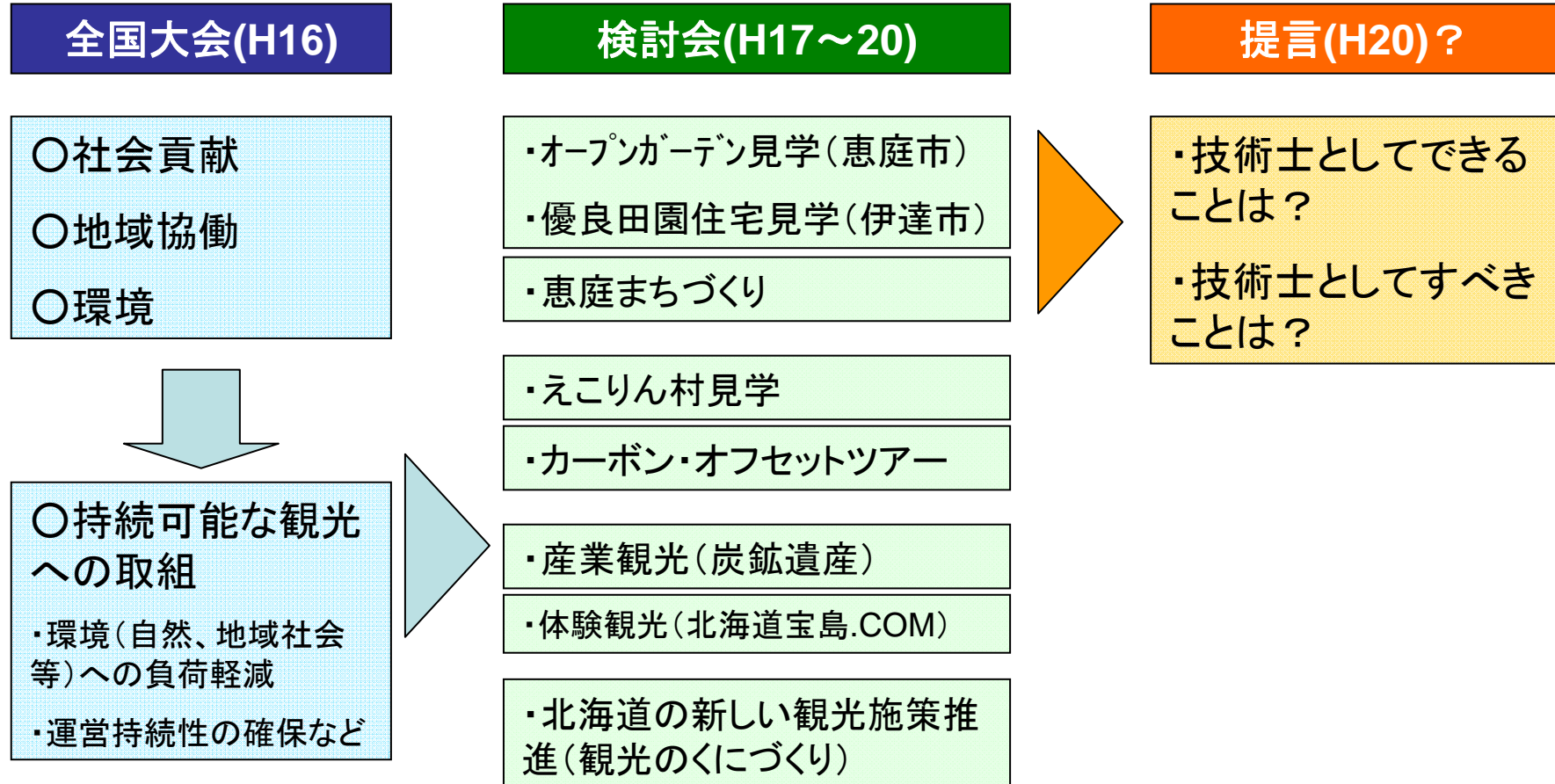
## 提案活動

### 道の駅活性化への提言

道の駅活性化への提言	情報発信機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ インターネットによる道の駅のPR、リアルタイム情報</li> <li>◆ 道の駅への「Iセンター」設置、案内人の配置により、旬で詳細な市街地案内情報、地域の総合的な情報を提供</li> <li>◆ 「駅長」、案内人、インストラクター、観光ガイド、ボランティア、通訳、など人材の育成と登録制度、地域の人材活用</li> </ul>
	市街地活性化の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中心市街地の再開発促進(町の駅)</li> <li>◆ 中心街の交流人口増大、駐車場設置(展示会、発表会、ギャラリ)</li> <li>◆ 市街地の新しい顔となる道路公園づくり(用地取得費補助)</li> <li>◆ 地域住民の利用促進(パソコン教室、陶芸教室など)</li> <li>◆ イベントの年間開催(特産、農水産物直販、フリーマーケット等)</li> <li>◆ 道の駅の複合化促進</li> </ul>
	「道の駅」や周辺での体験充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 食事・テイクアウト、物産・土産、の見直し・開発・充実</li> <li>◆ パークアンドウォーク(周遊散策路の設定)、自転車の貸し出し、バス停、川の駅、ホーストレッキングコースとの連携</li> <li>◆ オートバイ、キャンピングカーへの便宜提供(洗濯、コンビニ)</li> </ul>
	民間・地域住民・NPOの参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 積極的な民間事業者の誘致(サービス・質・価格の向上)</li> <li>◆ ボランティア等によるガイドの育成、登録、イベント開催</li> <li>◆ 道の駅の評価、ガイドブックへの記載</li> <li>◆ 「Iセンター」や道の駅への総合的な情報を提供できる人材の配置・常駐</li> </ul>

# 検討のキロポスト: フェーズ2(H16~20)

~社会貢献・地域協働・環境(ソフトウェア)を主眼とし~





# 恵庭見学会 (2006.7.4)

循環技術研究分科会と共催

恵庭・めぐみ野オープンガーデン



エコリン村



# 伊達市見学会 (2006. 10. 15)

循環技術研究分科会と共催

## 伊達市ヒアリング&現地見学



伊達市役所でのヒアリング



優良田園住宅制度による移住団地

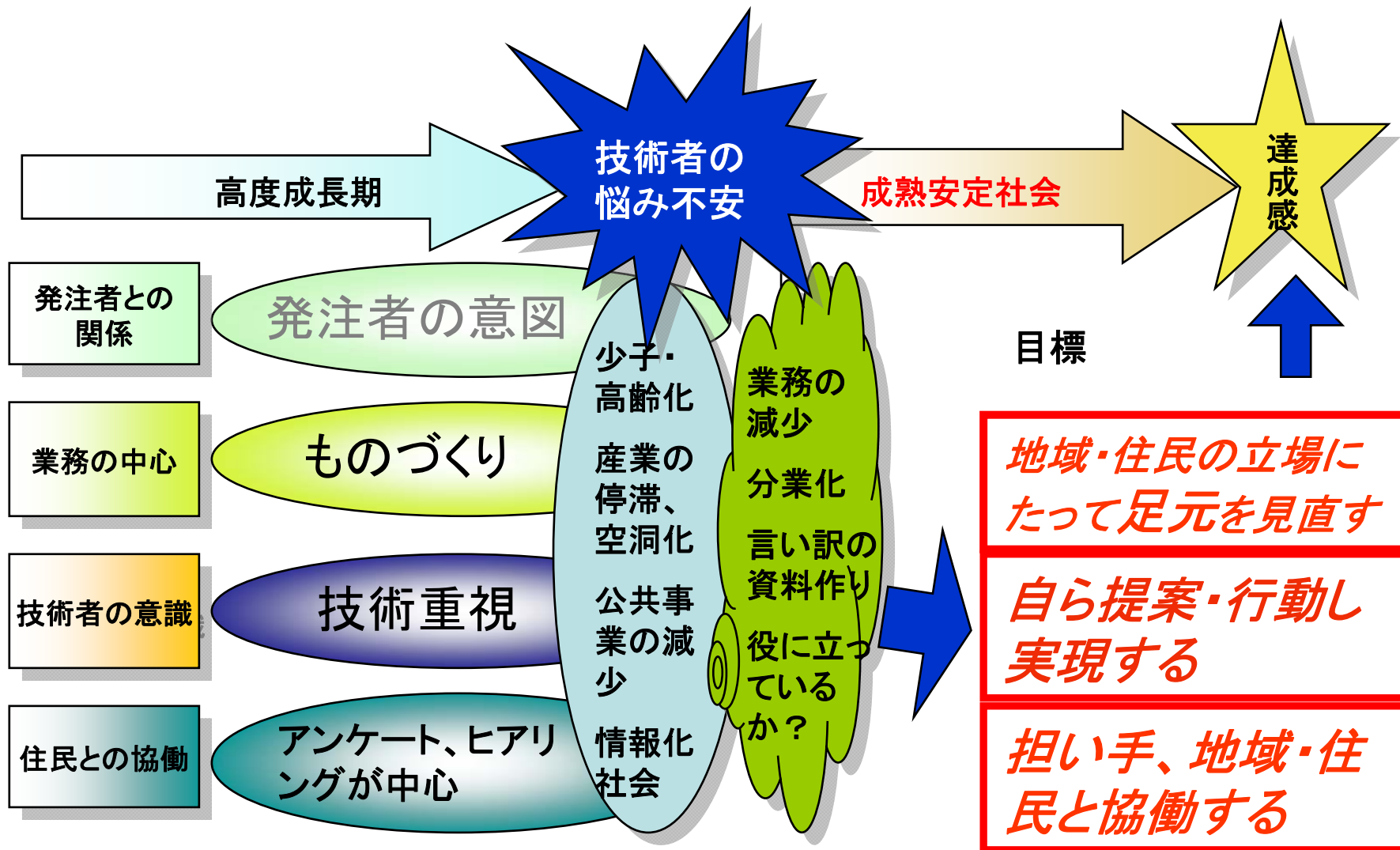


移住団地でのヒアリング



堆肥センター見学

# 技術士は何が出来るのか？ 当初の目標





# 観光振興に資する技術士の役割(私案)

～おわりにかえて～

技術士の役割

多様な専門技術分野の結集

「地域協働」の技術コーディネーターとして

「持続可能な観光」実現のための技術マネージャーとして(スペシャリスト+ゼネラリストへ)

「学び観光」のインタープリターとして